

パネルI: 市民が関与するグローバル 公共政策の在り方

グローバル化の深化と公共政策の連関性 ～米国事例と共に～

2007年7月21日

GPI共同ディレクター

清水美香

視点：グローバル化の深化と公共政策の連関性

- 「グローバル化の深化」に伴い、公共政策に関わる全体的構造は大きなうねりとなって変化
- この変化の本質をどう捉えるかは、今後の日本の政策展開の分岐点
- 問題解決に向けた革新的なアプローチの導入の是非を含め、政策形成プロセスが大きく異なる

構造的変化を分析的に捉えるための 4つの思考軸

- ①異なる 이슈が従来より遥かに複雑に入り組む傾向、異なる 이슈間の複雑な連携性
- ②複数の国家、地域のみならず、複数のセクターが複雑な形で関与
- ③不確実性や不透明性の要素がもたらされる傾向
- ④既存の政策決定機関だけでは、効果的な政策を体系化するための政策上のオペレーション(必要な情報の範囲、速度、接点)が欠如する傾向

構造的変化への対応のための核

- 「国内」政策と・「国際」政策が深く連関している側面を重視
- 「国際化」への対応（国と国の関係に焦点）を超えて、「グローバル化の深化」への対応に重点
- 公共政策をデザインし、実施し、マネジメントを行っていく方法を更新

構造的変化に対応するための アプローチ

- イシュー領域を超えた多方面の専門家・異なるセクターのアクターが、多面的に政策に関与するアプローチを採用
- 従来の政策オペレーションでは追いつかない部分を補うための仕組みを創出、政策・情報を効果的に体系化
- 情報・データ・成果物をできる限り公開

日本の分岐点对応の必然性

- ① 学問領域横断的、セクター横断的な研究・政策分析を可能にする仕組み、それに基づいて政策評価および政策提言できる仕組みを創る。
- ② 政策情報およびデータを「体系化」する仕組みを創る。
- ③ ②を、正確に政策決定者に伝え、さらに市民に伝え、議論の機会を提供する仕組みを創る。

米国最新事例：革新的アプローチ1

- グローバルリスクへの対応（例：パンデミック・インフルエンザ）
 - 重層的戦略
 - 300以上の具体的措置
 - 実施計画発表後の6・9・12・24ヶ月のそれぞれの時間枠に沿ってトラッキングを行いレビューする仕組み
 - NBIS（公衆衛生、農業、環境、およびインテリジェンスに関わる情報およびデータを統合）

米国最新事例：革新的アプローチ2

- 「国家安全保障に関わるプリンストンプロジェクト (Princeton Project on National Security)」
 - ・従来の国家安全保障戦略の概念・枠組みを超える、グローバル化の文脈を斟酌した構成。
 - ・3年がかりの期間・総計400人の多様なレベルの専門家を巻き込む。
 - ・ 이슈の連携性を意識した形の各テーマ、7つのワーキンググループ設置、各ワーキンググループの政策分析・評価を踏まえ政策提言。
 - ・プロジェクト完成までに9つのカンファレンスを開催、プロジェクト完成後9ヶ月間にわたってカンファレンスを開催、プロジェクトのアウトプットをできる限り広める取り組み。
 - ・プロジェクト財源は、フォード財団が全面支援。